

ふみびと

第220号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

きっかけだけで 変わる世界

人と人をつなぐ言葉

明けましておめでとう
ございます。また新しい
一年が始まり、皆さまは
どんな思いでスタートを
切られたでしょうか。

もう自分にとっては何
十回目ともなる新年。何
度迎えても新しい一年を
迎えた瞬間というのは新
鮮なもので、「今年は何
しよう」とか「今年こ
そは」という思いが溢れ
てきます。

年が明けて仕事の初日。
「おはようございます」

いつもの挨拶が自然とい
つもより少し元気な声に
なるところに「新年」の
不思議な力を感じました。

一年の始まりを気持ち
良い挨拶で迎えると、い
つも何気なく発している
たった一言の挨拶も特別
なものに思えます。

先日テレビを見ていた
時の、とあるお寺の僧侶
の方のお話。
それは「いただきます」
という挨拶を改めて見直
してほしいというもので

した。一般的に、料理を
作ってくれた人に対して
する、お礼の気持ちを込
めた挨拶。

無意識のうちに使って
いて、深く考えながら言
葉にしていなかったのだ
ですが、私も作ってくれた
人に対しての感謝という
気持ちで使っていたよう
に思います。

しかし、その僧侶の方
によると、本来は「命」
を「いただきます」とい



自分なりの何か

先日、お寺の住職と話を
する機会があった。年明
けの時期には、神社仏
閣に足を運ぶ人が増える
でしょうねと話すと、最
近はパワースポットや御朱
印帳の流行で、昔より、普
段から参拝に訪れる人
が増えているのだと言
つ。住職のような立場の
人にとって、例えば深い
信仰にもとづくもので

いう返事。「お参りの
理由は人それぞれです。
たとえ初めは軽い気持
ちでも、それをきっかけ
に本人

が何かを得られればそ
れでいいんです」と仰
つた。確かに、自分自
身を振り返ってみても、
きっかけは些細なこと
でも、そこから深まっ
ていった人や物との関
係はたくさんある。こ
の新しい年も、たくさ
んのきっかけと出会い、
自分なりの何かを深め
ていく時間を重ねてい
きたい。

風にゆられて誰かに届け!

風船便

いつでも誰でも参加でき
ますが、風船便の受取は新
規の方へ優先されます。送
り方は簡単。下の風船便切
手を取り取って手紙に宛名
に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書き
だす。あ事務返の筒にさし
入れます。局宛封下で交
流のきつかけにもつな
がっています。次回、お
知らせを同封いたします
ので、ぜひ奮ってご参加
ください。



次回発送日

1月末の発送日
今月末の発送は、通常
通り(31日)です。送り
たいお手紙がある場合に
は、29日までに事務局
に到着することを確認の
上、ポストに投函してく
ださい。

言葉の冊子

毎年恒例の言葉の冊子
「今年の目標」のイベ
ントを次回開催いたします。
毎年たくさんの方にご参
加いただき、村民同士の
交流のきっかけにもつな
がっています。次回、お
知らせを同封いたします
ので、ぜひ奮ってご参加
ください。

